



観光庁
 第2のふるさとづくり
 プロジェクト先駆的事例
 創出モデル

課題解決型観光開発和歌山モデル発表会 和歌山でテレワークしよう!

2025 **9/16** (火) 13:30~16:30

受付開始13:00

参加
 無料

場 所

QUINTBRIDGE 1階 (大阪京橋)

〒534-0024 大阪府大阪市都島区東野田町4丁目15-82
 アクセス:大阪環状線「京橋駅」北口改札から徒歩約10分

定 員

50名程度

WEBからの
 申し込みはこちら

対象者

ノマドワーカー・テレワーカー、地方創生ビジネス、二地域居住に関心のある方、自治体、企業、教育関係者

主 催

大阪観光大学

課題解決型観光開発和歌山モデル協議会
 (株式会社和み、株式会社クラブツーリズム、観光立国プラットフォーム)

協 力

和歌山県
 和歌山市



schedule

13:30~

1

主催者挨拶

学校法人大阪観光大学
 理事長
 山本 健慈

2

採択事業説明

株式会社和みマネジャー
 永田 大樹

3

基調講演 地方創生とテレワーク

株式会社パソナJOBHUB
 ソーシャルインノベーション部長
 加藤 遼

14:30~

4

パネルディスカッション

(進行)小野田 金司 大阪観光大学 特任教授

オダギリサトシ 氏
 株式会社インプリージョン 代表取締役

小野田 真弓 氏
 『熊野古道』を世界遺産に登録する
 プロジェクト準備会 代表

加藤 遼 氏
 株式会社パソナJOBHUB

酒井 晶子 氏
 株式会社aubeBiz
 代表取締役

樋山 智彦 氏
 株式会社クラブツーリズム
 執行役員

16:00~

5

交流会

※飲み物は各自支払い

17:30 **終了予定**

※スケジュールや内容は現段階の案のため、変更になる可能性があります。ご多用の中かとは存じますが、ご検討のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

申込先

大阪観光大学特務プロジェクト室

〒590-0493 大阪府泉南郡熊取町大久保南5-3-1受付時間/9:00~17:00(土曜・日曜・祝日は休み)

☎072-453-8222

観光庁「第2のふるさとづくり事業」とは

近年、「ふるさとを持たない若者」が増えており、彼らは地方との関わりを求める傾向があります。また、新型コロナウイルス感染症の蔓延は人々の意識を大きく変え、日常生活においては働き方や住まい方が流動化し、旅行においては混雑や密を回避し自然環境に触れる旅のニーズが増えています。観光庁では、そうした世間の流れをとらえ、「何度も地域に通う旅、帰る旅」という新しい旅のスタイルの推進のため、「第2のふるさとづくり」プロジェクトをおこなっています。

このプロジェクトは、国内旅行の従来型のレジャーとは違う新たな需要を掘り起こし、地域経済の活性化につなげるものです。また、このような新たな旅のスタイルを促進することは、交流人口・関係人口の拡大だけでなく、二地域・多地域居住や移住の促進に資するものと考えています。

このたび「地域課題解決型和歌山モデル事業」が採択されました。本日のセミナーでは和歌山市に滞在してテレワークする魅力や体験できる観光コンテンツをご紹介します。和歌山市の課題を解決できる関係人口を探ります。

パネルディスカッション 登壇者プロフィール



小野田 真弓 氏

『熊野古道』を世界遺産に登録するプロジェクト準備会
代表

1989～1991年に留学した北京市内で体験した事がきっかけで「熊野古道を世界遺産にしたい」と渴望し、1997年8月2日に和歌山県内の青年団体の有志と任意団体を立上げ「熊野古道を世界遺産にしよう!」と広く呼びかけ活動を始めました。2004年熊野古道の一部が「紀伊山地の霊場と参詣道」として世界遺産に登録、2016年に追加登録された後も毎月1回熊野古道を歩き、様々なイベントを開催し「世界遺産は異文化を理解する教材」と保全と活用の大切さと危うさを伝えてながら活動を続けています。



酒井 晶子 氏

株式会社aubeBiz
代表取締役

兵庫県出身。国内メーカーや外資系企業勤務を通じて約3000名以上の研修・採用・人材育成を経験。2011年より全員がテレワークの組織作りに携わり、在宅で起業家を支援する「オンライン在宅秘書サービス」を展開。2022年にサービス名称を「My Back Office®」へ改名し、バックオフィス業務全般やSNS運用などをワンストップで提供。14年超のオンラインBPO事業のノウハウをもとに、地方創生テレワーク事業としてテレワーカー養成講座や企業のDX化支援も推進しています。



小野田 金司 氏

大阪観光大学 特任教授
一般社団法人観光立国プラットフォーム 理事長

和歌山市在住、近畿日本ツーリストで22年勤務後、ベンチャー企業を経て2007年大学教授に就任。2013年より文科省、観光庁の観光人材育成事業を全国各地で展開。2019年より現職、同年より5年間十和田奥入瀬観光機構（日本版DMO）理事長も経験。2024年より（一社）観光立国プラットフォーム理事長、高校生の観光コンテスト「観光甲子園」の主催社団の代表理事も兼務。43年間ロックバンドのボーカルも担当している。



オダギリサトシ 氏

株式会社インブリージョン
代表取締役

大阪への観光集客企画を展開、自社ツアーのみならず大手旅行会社のツアー企画も行い、インバウンドを含め年間50万人以上を取り扱っている。その実績を活かして北海道から九州までの自治体やDMO、観光協会、旅館組合などを対象に商品開発、マーケティングなどのコンサルティングを行う。2022年「ふるさとワーケーションで日本が変わる」を出版、単なる観光ではなく地域の関係人口が増えるプランニングに力をいれ、地域の仕事を手伝う「ふるさとワーケーション®」を推進している。



加藤 遼 氏

株式会社バソナJOBHUB
ソーシャルインベーション部長

総務省 地域力創造アドバイザー、東北大学特任教授（客員）
全国を旅するにはたらきながら、新しい働き方の創造と地域活性化をテーマに、企業・行政・NPO・大学の連携による事業開発やプロジェクト推進に従事。観光分野においては、DMO・ローカルベンチャー事業開発、交流民泊・農泊推進、ラーニングツーリズム・ワーケーション企画・運営、観光人材育成などに取り組む。観光庁「新たな旅のスタイル促進事業」アドバイザー、東京都観光まちづくりアドバイザーなどを歴任。



樋山 智彦 氏

株式会社クラブツーリズム
執行役員

1992年近畿日本ツーリスト株式会社入社。2004年クラブツーリズム（株）に転籍。その後KNT-CTホールディングス株式会社に出向、二次交通事業や自治体事業など、地域密着型の観光施策に従事する。2019年からはクラブツーリズムの訪日事業部でインバウンド向けツアーを担当。2021年から地域共創事業部長に就任。クラブツーリズムの旅行商品での誘客を通じて地域と共につくる観光のあり方を追求し、全国各地の自治体や企業と連携しながら、新たな交流・観光モデルの創出に取り組んでいる。



永田 大樹 氏

株式会社和み
マネージャー

紀の川市在住、建築設計デザイナーを経て、都市計画コンサルタント、不動産ベンチャー企業を経て、2024年に和みにジョイン。全国で空き家活用のプロデュースや自治体・都市再生機構との事業者育成プログラムなどを経験し、2023年に地域活性化起業人として神奈川県鎌倉市と紀の川市の二拠点居住で粉河寺門前町の活性化に従事。空き旅館の活用を実施。不動産ファンドを活用した空き家再生に取り組んでいる。